

日中経済交流研究会新聞

2017年11月訪中団 in 平湖報告例会

報告者 税理士法人ガルベラ・パートナーズ 山本 泰志
 細田工業(株) 細田 新介
 Pink Rose ピンクローズ 広瀬みゆき
日時 2017年12月5日(火)
場所 大阪産業創造館 / 参加者数 27名



左から広瀬氏、山本氏、細田氏

11月に実施された訪中団の参加者の中から、今回初めて参加された方々に報告をしていただきました。訪問先は浙江省平湖と杭州。ややゆったりした平湖と大都会杭州の対照的な都市でした。

山本 泰志氏

上司の誘いで参加しまして、自身初めての中国訪問でまず現地での荒っぽい運転、交通事情に戸惑いました。そこで感じたのはこれからまだ成長する国で生活する人の圧倒的なエネルギーとバイタリティでした。日本と比較してまだすすんでいないところもありますが逆にスマホによる代金決済のみ OK の店が存在するようすでに追い抜かれているところもある。じっと留まって入ってくる情報だけに頼らず直に現地に行くことの重要性を知りました。

細田 新介氏

仕事は食品加工機の製造で中国には昨年子会社を設立しています。行く前に多少危惧していた反日の姿勢がどこにもなくどの会社訪問でも歓迎され明るく受け入れてくださったのには感激しました。仕事柄食品工場には興味を持って見学しましたが衛生管理も良く職場環境も良好でした。また労働力の確保が困難であるという人手不足の悩みは日本と同一でした。宿泊したホテルは外見上一流でしたが、トイレなど設備管理の面では行き届かず改善の余地も感じました。街中で小売りの現場にも行きましたが、安価なものが多い反面、おむつなど日本よりも高いものも見受けられました。また玩具などではまだ

まだ模倣品も多くみられ行政の働かないところも散見されたように思います。

広瀬 みゆき氏

英会話教室の運営をしており訪問団は同友会のチラシで興味を持ち参加しました。中国へは以前に商社勤務の時に訪問した経験はありましたが今回は知人がいない旅行にもかかわらず皆さんに温かく接していただき、すぐに打ち解けました。平湖でいろんな会社の見学を通じて思ったのは、どの企業も環境の変化に対応して日本企業の3倍から5倍の速さですすんでおり、このままだと追い越されるのではと脅威を感じたことです。ともあれ今回の訪問ではいろいろな点で気づかされることがあったので来年も忙しい中でも参加できるようにしたいと思います。

まとめ

日本電産シンポさんの例で典型的なように加工貿易の拠点としての中国より、急速に拡大する市場としての中国に目を向けている企業が多くなった。ただ目まぐるしく変化する環境規制の中でいかに自らを変えていけるかが生き残りのカギとなっていると感じた今回の訪中であった。

まとめ：坂本造機株式会社 坂本 進

